

(2016/05/09) 2016/04/27

モデル名 ONKYO TA2C-74Z8A
 型番 TA2C-74Z8A

モデル名	ONKYO TA2C-74Z8A	
型番	TA2C-74Z8A	
OS	Android™ 5.1 (32bit)	
CPU	インテル® Atom™ x5-z8350プロセッサ	
	コア数/スレッド数	コア数 4 / スレッド数 4
	動作周波数	1.44GHz (インテル® バースト・テクノロジー対応 最大1.92GHz)
	キャッシュメモリー	インテル® スマート・キャッシュ 2MB (2次キャッシュ / メインプロセッサに内蔵)
メインメモリー※1	DDR3L SDRAM オンボード	
	標準・最大	2GB※2
記憶媒体※1	32GB フラッシュメモリー (e-MMC / オンボード)	
	空き容量	25.3GB (出荷時)
ディスプレイ	内蔵ディスプレイ	タッチパネル付 10.1型 ワイドAHVAカラー液晶(LEDバックライト搭載)※3
	1,280×800ドット (約1,677万色)	
	外部ディスプレイ接続時※4	640×480ドット / 720×400ドット / 720×480ドット / 800×600ドット / 1,024×768ドット / 1,152×864ドット / 1,280×720ドット / 1,280×1,024ドット / 1,360×768ドット / 1,920×1,080ドット (約1,677万色)
グラフィックシステム	インテル® HDグラフィックス400	
無線LAN※5	2.4GHz帯 : IEEE802.11b/g/n 準拠 5GHz帯 : IEEE802.11a/n/ac 準拠	
	最大通信速度※6	867Mbps(11ac接続時) / 300Mbps(5GHz帯-11n接続時) / 130Mbps(2.4GHz帯-11n接続時)
	対応セキュリティ	WPA2-AES/TKIP, WEP(64bit/128bit)※7
	ワイヤレスディスプレイ送信機能	ミラキャスト対応※7
Bluetooth®	Bluetooth® Ver.4.1準拠※8	
	最大通信速度※9 / 送信出力※10	最大3Mbps / Power Class2
	対応プロファイル※11	LE HID(Host), OPP(Client/Server), HFP(Audio Gateway), HSP(Audio Gateway), A2DP(Source), AVRCP(Target), HOGP(Host), SPP(DeviceA /DeviceB), PAN(PAN User), DID(1.3), MAP(MSR), PBAP(PSE)
タッチパネル※12	静電容量式タッチパネル (10点マルチタッチ対応)	
Webカメラ※13	外側	500万画素 CMOSセンサー搭載 (オートフォーカス機能付き)
	内側	200万画素 CMOSセンサー搭載
スピーカー	内蔵ステレオスピーカー※14	
マイク	内蔵モノラルマイク	
センサー	3軸加速度センサー※15 / 照度センサー※16	
メモリーカードスロット※17※18※19	microSDメモリーカード/microSDHCメモリーカード/microSDXCメモリーカード 共用スロット	
インターフェース	右側面	(内蔵モノラルマイク×1)
	左側面	ヘッドホン兼ヘッドセット端子(CTIA準拠4極ミニジャック)×1※20※21, USB3.0ポート(Type A)×1, USB2.0ポート(Type A)×1※22※23※24, デジタルディスプレイ出力端子(microHDMI TypeD)×1※25, 電源入力端子兼USB2.0ポート(micro-B)×1※26
	底面	拡張ポート×1
内蔵バッテリー※27	リチウムイオンポリマーバッテリー 3.7V / 25.9Wh (7,000mAh)	
	動作時間(当社測定法※28)	約6.3時間
	充電時間	電源OFF時 約4.2時間 / 電源ON時 約6.3時間
ACアダプター	入力 AC100~240V±10%, 50/60Hz / 出力 DC5V, 2A	
消費電力※29	最大時 約15W / 標準時 約5W / 省電力時 1W未満	
エネルギー消費効率 (省エネルギー基準達成率)※30※31	S区分 0.136(AA)	
本体寸法	254(幅) × 165(高さ) × 10.5(厚さ)mm (突起物は含まず)	
質量	本体	約640g
	ACアダプター (電源ケーブル含む)	約80g
動作環境	周囲温度 5~35℃ / 周囲湿度 35~85% (ただし結露しないこと)	
電波障害対策	VCCI ClassB	
付属品	ACアダプター, 電源ケーブル, 各種マニュアル, 保証書, 他	

主なインストール済みアプリ	音楽視聴	音楽
	音声録音	音声レコーダー※32
	Webカメラ操作	カメラ

画像、動画ファイル管理	ギャラリー
電卓ソフト	電卓
インターネット閲覧	ブラウザ
インターネット検索	検索
メール送受信	メール
時計表示	時計
ファイル操作	File Manager
スケジュール管理	カレンダー
日本語入力システム	iWnn IME for Android 日本語版

- ※ 1 システム上では1MB=1024²byte, 1GB=1024³byte換算するため実容量より少なく表示されます。
- ※ 2 メモリーの増設は出来ません。
- ※ 3 液晶ディスプレイは液晶の特性上ごく一部に非点灯や常時点灯などの画素が存在したり明るさにむらが出ることがありますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 本機の有効ドット数(サブピクセル単位)の割合は99.99%以上です。
- ※ 4 本機が出力可能な解像度です。お使いになるディスプレイにより最大解像度が制限される場合があります。
- ※ 5 2.4GHz帯無線LANのchは1~13chに対応しています。5GHz帯無線LANのバンドはW52/W53/W56に対応しています(W52/W53は電波法によりご利用が屋内に限定されています)。
- 異なる規格やchおよびバンドの通信を同時におこなうことはできません。
- ※ 6 最大通信速度は規格上の理論値です。実際の通信速度は使用環境などにより異なります。
- ※ 7 ミラキャスト機能をご利用になる場合は、市販の受信アダプターおよび送信アダプターに対応したテレビまたは外部ディスプレイを別途ご用意ください。
- ※ 8 Bluetooth® Ver.4.0とVer.3.0、Ver.2.1+EDRおよび下位バージョンに対応しています。すべてのBluetooth機器との動作を保証するものではありません。High Speed(HS)機能には対応しておりません。
- 規格による通信速度は最大3Mbps(理論値)です。実際の通信速度は接続対象機器、障害物や使用環境により異なります。
- ※ 9 最大通信速度は規格上の理論値です。実際の通信速度は使用環境などにより異なります。
- ※ 10 規格上の電波出力クラスです。最大通信範囲は見通し距離約10mです。
- ※ 11 同じプロファイルをもつ機器を接続することで、そのプロファイルの機能が利用できます。接続する機器によってはすべての機能を利用できない場合があります。機器専用のアプリケーションが必要な場合があります。
- ※ 12 静電容量方式対応のタッチペンで動作します。すべてのタッチペンの動作を保証するものではありません。
- ※ 13 本機のカメラレンズの角度は、縦向き使用時の撮影に合わせてセットされています。横向き使用時は、被写体に合わせ本機の向きを調節してください。
- ※ 14 本機は縦向き使用の際にスピーカーレイアウトが左/右になります。
- ※ 15 XYZ軸3方向(横、縦、高さ)の加速度を検知します。
- ※ 16 周囲の明るさを検知します。
- ※ 17 すべてのメディアの動作を保証するものではありません。
- ※ 18 高速データ転送規格はUHS-Iに対応していますが、CPUの制御により速度モードはSDR12(最高速度 約12.5MB/s)に制限されます。高速データ転送をご利用になる場合は対応するメモリーカードをご用意ください。
- ※ 19 SD I/O及び著作権保護機能には対応していません。
- ※ 20 ヘッドセット端子の規格はCTIA準拠型です。OMTP準拠型のヘッドセットは使用できません。
- ※ 21 マイク機能のみを持ったマイクロフォンは使用できません。
- ※ 22 本機は設計上USB3.0ポート(Type A)にUSBプラグを挿し込むときと、USB2.0ポート(Type A)にUSBプラグを挿し込むときでは、USBプラグの向き(表/裏)が異なります。
- ※ 23 USB3.0ポート(Type A)、USB2.0ポート(Type A)へのUSB接続はホストモードのみ対応です。デバイスモードには対応しておりません。
- ※ 24 本機のシステム消費電力とUSBポートに接続した外部USB機器等の消費電力の総和がACアダプターの出力電力を上回る場合、ACアダプター接続時でもバッテリーの電力が消費されます。
- ※ 25 HDCP非対応です。
- ※ 26 micro-BポートのUSB通信はデバイスモード専用です。ホストモードおよびOTGモードには対応しておりません。故障の原因になりますので市販のOTGケーブルは使用しないでください。micro-BポートでUSBデバイスモードの通信をおこなうときは、本機のUSB3.0ポートに接続しているUSB3.0機器を一時的に本機から取り外してください。
- ※ 27 バッテリーパックは消耗品です。お客様自身によるバッテリーパックの交換はできません。バッテリーパックの交換はオンキヨーPCカスタマーセンターに依頼してください。
- ※ 28 液晶輝度最大、WiFi接続状態、動画再生(フルスクリーン)の動作時間と、液晶輝度最大、WiFi接続状態、Home画面放置の動作時間の平均値です。(実際の動作時間は使用状況により異なります。)
- ※ 29 「最大時」は電源定格出力より算出した理論上の最大消費電力、「標準時」は出荷構成で本機を起動させた状態での消費電力です。
- ※ 30 2011年度基準で表示しています。エネルギー消費効率とは、省エネルギー法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネルギー法で定める複合理論性能で除したものです。
- ※ 31 省エネルギー基準達成率とは、経済産業省で定められた測定方法により測定した数値を表示語A:100%以上200%未満、AA:200%以上500%未満、AAA:500%以上で示したものです。
- ※ 32 イヤホンジャックに機器を接続した直後にアプリを操作すると、エラーメッセージが表示されることがありますが、故障ではありません。イヤホンジャックに機器を接続した際は2秒以上時間をおいてからアプリを操作して下さい。

■環境対応

法律・ガイドライン	グリーン購入ガイドライン※1	×
省電力	国際エネルギースタープログラム※2	×
環境ラベル紙資源の節約	PCグリーンラベル※3	×
	PCリサイクル※4/PCリサイクルマーク※5	× / ×
	VCCI (VCCI Class B に適用)	○
	CE (欧州委員会発令PC関係の統一安全規格)	×
	エコマーク	×
	エコリーフ	×
	環境自己主張マーク	×
	マニュアルの電子化※6	○
	古紙使用の包装材※7	○
環境負荷低減	パソコンに関するVOCガイドライン(第2版)※8	△
	アスベスト使用禁止	○
その他の国際規制/ 国内規制対応	RoHS指令の対応※9	○

	J-MOSS (グリーンマークに対応)※10	○
--	------------------------	---

■規格関連事項

法律・ガイドライン	電波法	○
	電気通信事業法	外
	電気用品安全法	○

※1 グリーン購入の取り組みを促進するために設立された「グリーン購入ネットワーク(GPN)」が策定する購入ガイドラインの基準を満たした製品です。

※2 国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしています。

※3 PC3R「PCグリーンラベル制度」の審査基準(2009年度版)を満たした製品です。

※4 当社での回収・再資源化に対応した製品です。

※5 PCリサイクルマークがついた当社製品は、当社が無償で回収・再資源化いたします。

※6 マニュアルの一部を電子化し、紙資源の節約に取り組み、さらに、添付マニュアルは、再生紙を使用しています。

※7 包装材は、古紙のダンボールを使用しています。

※8 JEITA「パソコンに関するVOCガイドライン」の基準を満たしています。

※9 EUの現行RoHS指令による、電気電子機器に含まれる特定化学物質(水銀、鉛、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE、DEHP、BBP、DBP、DIBPの10物質)に関する使用制限に準拠しています。日本国内専用品につきCEマーキングは適用外としています。

※10 電気・電子機器の特定化学物質(水銀、鉛、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE)の含有表示方法を規定した日本工業規格です。グリーンマーク(化学物質非含有)と含有マーク(化学物質含有)があります。

備考

◆エコマークとは

エコマークは、様々な商品(製品及びサービス)の中で、「生産」から「廃棄」にわたるライフサイクル全体を通して環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品につけられる環境ラベルです。このマークを活用して、消費者のみなさんが環境を意識した商品選択を行ったり、関係企業の環境改善努力を進めていくことにより、持続可能な社会の形成をはかっていくことを目的としています

◆エコリーフとは

2002年6月に始まった、産業環境管理協会(JEMAI)が推進する環境ラベル。製品の製造から販売、リサイクルまでの全工程での環境データを求め、情報を公開した製品に付与される。環境配慮型の製品の拡大普及を目指している。

◆環境自己主張マーク

環境配慮型製品のコンセプトを明確にお客様に伝えるとともに、新製品開発時の環境面での目標として環境配慮の推進に役立てることを目的に、環境自己主張マークを設定しています。環境自己主張マークについては、製品の環境に対する配慮を明確にするため、自己主張する分野を規定しています。これはISO14021を参考に事業内容を加味した上で規定したものである